

栗熊コミュニティ

安心して暮らせるまちを目指して

栗熊コミュニティでは、地域の人気マスコットキャラクター・クリックマンの名前を付けた見守り隊を結成しています。「栗熊の宝、栗っこは地域の大人たちで守ろう」を合い言葉に活動し、県内外からも注目されている同隊の取り組みを紹介します。

地域の大人たちで守る

栗熊地区は田園地帯で広く、小学校が地区の北の端にあるため、通学に歩いて40〜50分かかると危ない農業用水路があったりと、通学する上で不安がありました。そこで、子どもたちが安心して通学できるよう、地域



下校の時間に合わせてパレード



農作業をしながら見守り活動

添い下校したり、危険箇所立ち回りする「散歩立哨部」。そして3つの目は、農園地帯が広がる地域の特性を生かし

の大人たちが立ち上がりました。元気な中高年を中心に、今では100人を超える人が見守り活動に参加しています。

3つの部隊で見守りを

クリックマン見守り隊は、3つの部隊で構成されています。1つ目は、下校時刻に合わせて週に5日青パトで地域を巡回する「青パト部」。2つ目は、下校



防犯看板を設置して啓発

ながっています。

見守りが生きがい

見守り活動を行うことにより、栗熊コミュニティでは着実に成果が出ています。まず、昼間は野犬やイノシシの出没が大幅に減り、不審者もほとんど見なくなりました。また、見守り隊が子どもたちに声を掛け続けていくうちに、子どもたちから元気よくあいさつをしてくれるようになり、活動を通して、隊員が子どもたちから元気をもらい、見守り活動が生きがいになっている人も増えていきます。今後、子どもたちが安心して暮らせるまちを目指して、栗熊コミュニティの取り組みは続きます。

て、農業をしながら子どもたちを見守る「農業部」です。それぞれが分担・協力することで、地域の安心・安全につ

子どもたちと共に育つボランティア

栗熊コミュニティでは、平成27年に「クリックマン見守り隊」を結成しました。平成30年にはPTAと事業所も加わり、総勢150人程の構成となっています。

また、昨年からは、家庭・地域・学校が協働して子どもたちの育成に取り組む「栗っこ応援隊」も結成し、授業補助や保育所・小学校の環境整備などを行っています。

活動を続けていく中で、「少しでも地域に貢献したい」というボランティアが育っていることがうれしい限りです。子どもたちの成長を見守りながら、自分たちも成長できるようにがんばります。



栗っこ応援隊が授業でエプロン作りを補助



栗熊コミュニティ 会長 大谷 秀雄さんとクリックマン